

こども安全対策分科会

| 課題1 | <p style="text-align: center;">＜乳幼児＞</p> <p style="text-align: center;">・0～4歳の救急搬送件数が多い ・養育者のヒヤリハット経験が多い</p> | |
|-----------------------|--|--|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| <p>養育者への啓発</p> | <p>① 実施者・協働者 区役所、保育施設、地域子育て支援拠点、地域の訪問員、分科会委員</p> <p>② 対象 主に0歳から4歳児の養育者</p> <p>③ 実施内容 ・事故予防啓発用の クリアファイルやリーフレットの配布 ・地域育児教室での保健師による ワンポイントアドバイスの実施 ・乳幼児健診時での 事故予防チェックリストの配布 ・事故予防に関する養育者向けアンケートの実施</p> <p>④ 過去一年間の改善点 養育者向けアンケートについて、3歳児の回答結果をとりまとめたことで、養育者の意識・行動の経年による変化を把握することができた。</p> | <p>《配布数》 ファイル：386部 リーフレット：763部</p> <p>《参加者数》 177人</p> <p>《配布数》 2,132人 （個別委託乳幼児健康診 査（特例措置）は除く）</p> <p>《回答者》 4か月児：113人 1歳6か月児：124人 3歳児：91人</p> |

| 課題2 | <p style="text-align: center;">＜学齢期＞</p> <p style="text-align: center;">小学校内で起きた事故は大人の目が行き届かない 「休憩時間」に発生することが多い</p> | |
|--|---|--|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| <p>子どもへの 注意喚起(K YT(危険予 知トレーニン グ)の実施)</p> | <p>① 実施者・協働者 子ども会、分科会委員、区役所</p> <p>② 対象 主に小学生、K Y T指導者（地域の方）</p> <p>③ 実施内容 ・分科会委員がK Y T講習会を体験する機会を 設け、それぞれの所属団体の取組への活用を検 討 ・子ども会や放課後施設を中心にイベント開催 時に合わせたK Y Tの実施</p> <p>④ 過去一年間の改善点 子ども会連絡協議会による、放課後施設（市立 小学校に設置）への出前講座を行った。</p> | <p>子ども会 ≪実施回数≫0回 ≪参加者≫0名 放課後施設 ≪実施回数≫28回 ≪参加児童数≫668人</p> |

| 課題3 | <p style="text-align: center;">＜学齢期＞ 「怖い人と出会う」のは家や学校の周辺である</p> | |
|--------------------|---|---|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| 地域の住民による見守り | <p>① 実施者・協働者 地域住民、保護者（PTA）、区役所、分科会委員</p> <p>② 対象 主に小学生、中学生</p> <p>③ 実施内容 ・地域住民や保護者による登下校時の通学路の安全見守り ・「こども110番の家」の登録を呼びかける活動（新入生保護者説明会や地区懇談会など） ・小中学校でのあいさつ運動、子どもたちの地域行事への参加 ・安全安心な地域づくりに関する学校（児童生徒向け）アンケートの実施 ・栄区オリジナル連絡帳の配布</p> <p>④ 過去一年間の改善点 取組の効果を検証するため、子どもたちへのアンケートを継続実施した。（地域の大人との「顔の見える関係づくり」が進められ、安全安心な地域であると感じているかを確認した。） また、アンケートの実施計画を見直し、3年で全校を一巡することとし、アンケート結果に地域性の偏りが出ないようにした。 子どもの事故やけがの予防意識の啓発を行うために、栄区オリジナル連絡帳を、区内小学校の新1年生に配布した。</p> | <p>≪参加者数≫1,500人</p> <p>≪登録軒数≫2,395軒</p> <p>≪実施回数≫ 1回</p> <p>≪回答者数≫ 小学5年生：392人 中学2年生：281人</p> <p>≪連絡帳配布数≫ 1,078部</p> |

スポーツ安全対策分科会

| 課題1 | ＜全年代＞スポーツ活動時の準備運動不足、技術不足 | |
|--------------------------|---|---|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| <p>けが予防講習会の開催</p> | <p>① 実施者・協働者 栄区体育協会、栄区スポーツ推進委員連絡協議会、栄区青少年指導員協議会、さわやかスポーツ普及委員会、NPO法人さかえスポーツくらぶ、スポーツ安全対策分科会</p> <p>② 対象 分科会構成団体、栄区民</p> <p>③ 実施内容 分科会において分科会構成団体を主な対象とした、アンケート^(注1)分析共有会を実施したほか、スポーツ協会へ講師が出向き、けが・事故等予防対策講座を実施</p> <p style="text-align: center;">（注1）令和2年度に、スポーツ安全対策分科会が、運動や身体を動かす活動の指導者・支援者を対象に「過去3年間に経験した、活動中のけが・事故の発生状況」についての実施したアンケート</p> <p>④ 過去一年間の改善点 新型コロナウイルスの流行が続くなか、運動中のけが・事故等の予防対策を広く周知するため慶應義塾大学スポーツ医学研究センター^(注2)の協力のもと、けが・事故防止のためのウォーミングアップ、クーリングダウンについて解説した動画を作成し、YouTubeで配信した。</p> <p style="text-align: center;">（注2）運動中のけがや障害の予防、スポーツと健康維持増進や疾病予防との関係について、医学・運動生理学など多様な視点から研究する施設</p> | <p>《実施回数》 2回（スポーツ安全対策分科会アンケート分析結果共有会、けが・事故等予防対策講座）</p> |

| 課題2 | ＜20代～70代以上＞日頃の運動不足 | |
|------------------|--|--------------|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| ウォーキングの推進 | <p>① 実施者・協働者 スポーツ安全対策分科会、区役所</p> <p>② 対象 分科会構成団体、栄区民</p> <p>③ 実施内容 ・ウォーキングの効果や正しい歩き方に関するチラシの配布 ・効果的なウォーキングのコツ等について解説した動画を作成し、YouTubeで配信</p> <p>④ 過去一年間の改善点 新型コロナウイルス感染予防対策をしながら対面によるウォーキング講座を計画したが、感染者数増加のため中止となった。栄スポーツセンターの協力のもと作成した動画では、安全なウォーキングのための3つの取組（①準備運動、②正しい姿勢、呼吸を整える。）等を具体的な動きを交えて紹介することができた。</p> | ≪配布数≫4,500部 |

交通安全対策分科会

| 課題1 | <交通安全の啓発> 各季および強化月間の交通安全運動の実施と広報啓発 | |
|---------------------------------|--|--|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| 各季および強化月間の交通安全運動の実施と広報啓発 | <p>① 実施者・協働者 交通安全対策分科会</p> <p>② 対象 栄区民</p> <p>③ 実施内容</p> <p>○各季の運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の全国交通安全運動 ・夏の交通事故防止運動 ・秋の全国交通安全運動 ・年末の交通事故防止運動 <p>○強化月間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーアップ月間 ・二輪車交通事故防止月間 ・放置自転車・バイククリーンキャンペーン ・飲酒運転根絶月間 <p>○その他のキャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故にあワンキャンペーン ・新年交通安全ミニ凧キャンペーン など <p>○広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報よこはま」特集記事の作成 ・「栄区交通安全通信」の作成 <p>④ 過去一年間の改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所入口付近、バスターミナル付近など、キャンペーンの場所を代えてみたり季節に合った啓発グッズを入れてみたりなど工夫を図った。 ・道路の乱横断、ながらスマホ等、区内で多く見られる身近な危険について、広報できた。 | <p>≪キャンペーン等の回数≫ 11回</p> <p>≪啓発物品の配布数≫ 約1700個</p> |

| 課題2 | <p style="text-align: center;"><こどもの交通事故> 登下校時の事故への対策</p> | |
|------------------|---|---|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| スクールゾーン対策 | <p>① 実施者・協働者 各小学校スクールゾーン対策協議会、各小学校の登下校見守りボランティア、栄警察署、栄土木事務所、栄区役所</p> <p>② 対象 栄区内小学校（14校）</p> <p>③ 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各校のスクールゾーン活動との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールゾーン活動説明会開催（書面開催） （各校へ活動の概要等、資料の送付） ・学区内の危険箇所調査、要望書作成への支援 ・警察・土木事務所・区役所の3者会議開催 （要望に対する対応内容、対応予定の確認） ・要望対応予定を各校へ回答 ○分科会委員への情報提供、意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールゾーン対策協議会の概要、具体的な要望内容、対応の紹介 <p>④ 過去一年間の改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度もコロナ感染拡大防止対応により各校と行政機関が、危険箇所について要望の内容と対応を書面でやりとりをするかたちをとった。対応の内容を決定するうえで、警察署、栄土木事務所、区役所の3者が事前打合せを行ったことで柔軟な対応ができた箇所もあった。 | <p style="text-align: center;"> <<改善箇所数>> 67箇所 </p> |

| 課題3 | <高齢者の交通事故> 自動車事故への対策 | |
|------------------|---|--|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| 高齢者交通安全教室 | <p>① 実施者・協働者 栄交通安全協会、栄交通安全母の会連絡会、栄区シルバーリーダー連絡協議会、栄警察署、分科会委員</p> <p>② 対象 65歳以上の高齢者</p> <p>③ 実施内容 ・交通安全教室や安全運転講習の実施 ・チェックリスト等の結果による専門機関の受診や免許返納の検討の促進啓発</p> <p>④ 過去一年間の改善点 コロナ禍の影響で、すべての敬老クラブが交通安全教室を中止したため、啓発はできなかった。今年度作成した「交通安全通信」には高齢者に多い事故の傾向を載せており、次年度の交通安全教室の資料として活用したい。</p> | <p>≪実施回数≫ 0回</p> <p>≪参加者数≫ 0人</p> <p>≪免許返納数≫ 770件</p> |

児童虐待予防対策分科会

| 課題1 | <地域への虐待防止啓発・親への情報提供> 子育てに自信を持たず、不安を抱える母親が数多くいる | |
|-------------------------------|---|--|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| さかえっ子の 笑顔ひろげ 隊 | <p>① 実施者・協働者 主任児童委員・地域子育て支援拠点、区社会福祉協議会、フレンズ☆SAKAE、区役所</p> <p>② 対象 地域住民、関係機関</p> <p>③ 実施内容 ・身近な地域に出向いての児童虐待防止啓発や見守り活動の周知 ・子育ての相談先の啓発活動実施</p> <p>④ 過去一年間の改善点 ・子育て関連イベントを活用した啓発活動の実施 ・従来実施していた「ふれあい体験」は中止。 コロナ禍でも実施できるよう子育て中家庭のインタビューDVDを作成した。</p> | <p>≪実施回数≫ 5か所 ≪対象人数≫ 322人</p> |
| こんにちは赤 ちゃん訪問 | <p>① 実施者・協働者 区役所、こんにちは赤ちゃん訪問員、分科会委員</p> <p>② 対象 生後4か月までの乳児がいるすべての家庭</p> <p>③ 実施内容 ・訪問員（主任児童委員、分科会メンバーなど）が訪問し、地域の子育て情報を提供 ・地域での見守り活動</p> <p>④ 過去一年間の改善点 ・妊娠期からの事業周知による訪問率の向上</p> | <p>≪訪問件数≫ 724件（訪問率 97.4%） コロナ特例で13か月の集計のため</p> |

| 課題2 | <p style="text-align: center;"><関係機関の連携強化・親への専門的支援> 児童虐待に至るリスクを抱えている養育者が存在している</p> | |
|-------------------|--|---|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| 栄区虐待防止連絡会 | <p>① 実施者・協働者 区役所</p> <p>② 対象 栄区児童虐待防止連絡会委員 ・民生児童委員、主任児童委員、学校関係者、幼稚園・保育園関係者、自治会・町内会関係者・医療機関、教育委員会、児童相談所、分科会委員他 28 団体、41 名で構成</p> <p>③ 実施内容 ・児童虐待の現状、栄区の子育て支援、地区の子育て支援に関する情報共有、意見交換</p> <p>④ 過去一年間の改善点 ・新型コロナウイルス感染症対策のため全体会を書面開催とした。感染症拡大防止目的で、地区別連絡会は中止とした。</p> | <p>≪実施回数≫ 全体会：年1回 （書面開催）</p> |
| 専門家による早期対応 | <p>① 実施者・協働者 区福祉保健センター保健師、助産師、社会福祉職等</p> <p>② 対象 主に妊娠期、乳幼児時期の子ども及び養育者</p> <p>③ 実施内容 ・母子健康手帳交付時の看護職による全数面接 ・EPDS高得点者及び育児不安を抱える養育者の支援 ・児童虐待に対する早期対応、支援等</p> <p>④ 過去一年間の改善点 ・育児不安の軽減を図るための個別相談、教室プログラムの見直し</p> | <p>≪母子訪問員による第1子への訪問実施件数≫230件</p> <p>≪児童虐待対応件数≫143件</p> <p>≪個別ケース検討会議実施数≫27件</p> |

高齢者安全対策分科会

| 課題1 | 高齢者の転倒・転落事故が多い | |
|-------------------|--|---|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| 転倒予防に資する取組 | <p>① 実施者・協働者 分科会委員、元気づくりステーションリーダー、栄消防署、民生委員、保健活動推進員、地域包括支援センター、区役所</p> <p>② 対象 元気づくりステーション所属メンバー、元気づくりステーション・筋トレ自主会・地域ケアプラザ講座等の参加者、地域サロン等の参加者</p> <p>③ 実施内容 ・元気づくりステーションの普及 ・転倒予防の重要性や転倒予防体操実技の啓発 ・住環境改善の啓発…「転倒予防で健康長寿!!」チラシにて啓発。 ・転倒予防体操の動画を作成しYouTubeでの配信や関係機関にDVDを配布。 ・転倒予防体操動画のチラシを作成し啓発。</p> <p>④ 過去一年間の改善点 ・転倒予防体操の啓発を新たに広げていくとともに、既に啓発済みの団体にも、取組の継続を働きかけた。 ・身近な地域に転倒予防体操を広げるために、支援者の育成を図った。 ・転倒予防体操の動画を作成し、身近な集まりや自宅でも気軽に体操に取り組むことができるようにYouTubeでの配信やDVDを配付した。 ・転倒予防体操を広げるため、体操動画チラシを作成し、区役所、関係機関・団体にて転倒予防の啓発時に配付した。</p> | <p>《元気づくりステーショングループ数》 20 《参加人数（延べ）》 12,926人</p> <p>《転倒予防リーフレット配布数》 1,334枚 《転倒予防体操に取り組んだ人》 12,263人</p> <p>《転倒予防チラシ（住環境改善）配布数》 534枚 《転倒予防体操動画チラシ配布数》 3,804枚</p> <p>※一部の元気づくりステーションやサロンで、普段の活動の中で転倒予防体操を取り入れたほか、地域の支援者を育成し、身近な地域で、転倒予防体操を実践した。</p> |

| 課題2 | 高齢者の冬場の溺死・溺水件数が多い | |
|------------------|--|---|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| ヒートショック 予防の普及 | <p>① 実施者・協働者 高齢者安全対策分科会、民生委員、保健活動推進員、地域包括支援センター、区役所</p> <p>② 対象 ヒートショック出前講座受講者、分科会委員所属団体、イベント等来場者</p> <p>③ 実施内容 リーフレットやポスター、アンケートを活用したヒートショック対策の説明</p> <p>④ 過去一年間の改善点 自治会掲示板、区内の医療機関や薬局の他、栄区商店街連合会にポスター掲示を依頼し、多くの人が目につきやすい場での啓発の工夫を行った。</p> | <p>≪リーフレット配布数≫3,402枚</p> <p>≪出前講座等参加人数（延べ）≫53人</p> <p>≪ポスター掲示依頼数≫854枚</p> |

災害安全対策分科会

| 課題1 | ＜地域防災拠点の課題＞学校との連携・実践的な訓練の必要性 | |
|----------------------|---|--|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| 実践的な防災拠点訓練の実施 | <p>① 実施者・協働者 分科会委員、地域防災拠点運営委員、区役所</p> <p>② 対象 地域防災拠点運営委員</p> <p>③ 実施内容 ・ 情報受伝達、特設公衆電話使用訓練の推奨</p> <p>④ 過去一年間の改善点 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を加味し、5か年計画の柔軟な見直しを実行。</p> | <p>・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の形式で拠点訓練を実施することが困難であった。また訓練を行った8拠点のすべてにおいて、新型コロナウイルス感染症対策の訓練ないし講義が実施された。</p> |

| 課題2 | ＜災害時要援護者支援の必要性＞訓練を実施しているのは一部のみ | |
|-----------------------|--|---|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| 災害時要援護者支援の取組拡大 | <p>① 実施者・協働者 区役所、自治会・町内会</p> <p>② 対象 自治会・町内会</p> <p>③ 実施内容 ・自治会・町内会が実施する災害時要援護者避難支援訓練の経費の一部に対して補助金交付。 ・取組啓発のため講演会実施。（動画配信）</p> <p>④ 過去一年間の改善点 取組状況を把握するために、全自治会・町内会に対し、アンケートを実施した。</p> | <p>≪補助金を交付し、訓練を実施した自治会・町内会数≫ 2自治会・町内会</p> |

| 課題3 | より身近な避難所の必要性 | |
|-----------------------|---|------------------------------|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| 地域避難所の設置及び訓練実施 | <p>① 実施者・協働者 自治会・町内会、分科会委員</p> <p>② 対象 自治会・町内会</p> <p>③ 実施内容 地域避難所選定の推奨</p> <p>④ 過去一年間の改善点 自治会、町内会での防災講演等に加えて、3年度に改訂した「栄防災ノート」も活用した啓発を行い、地震だけでなく風水害等様々な災害においても開設してもらえるように周知した。</p> | <p>≪地域避難所選定箇所数≫ 68箇所</p> |

自殺予防対策分科会

| 課題1 | 自殺問題への理解と自殺予防の必要性啓発 | |
|----------------|--|---|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| 啓発活動の展開 | <p>① 実施者・協働者 分科会委員、委員の所属する団体の職員、利用者、区役所</p> <p>② 対象 通勤通学者、学生の親世代、一般区民</p> <p>③ 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前で啓発グッズ配布 ・ 図書館での企画展や区民まつりでのパンフレット配布 ・ 他事業での説明、パンフレット配布 <p>④ 過去一年間の改善点 新型コロナウイルスの影響により、イベントでの啓発が行えなかったため、施設窓口でのグッズ配布を行った。</p> | <p>≪大船駅キャンペーン、本郷台駅周辺キャンペーン、本郷台駅前祭り、いたちまつり、区民まつり≫ 新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>≪図書館での企画展≫ 9月に実施</p> <p>≪その他啓発≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発グッズ（ウェットティッシュ）を街頭での配布は行わず、地域ケアプラザ等の施設窓口での配布を行った。 ・ セルフケア、身近な人への声かけ等、こころの健康を考える記事を広報よこはま栄区版（R4年3月号）に掲載した。 |

| 課題2 | 自殺予防の担い手育成 | |
|------------------------|---|--|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| ハートフル サポーター | <p>① 実施者・協働者 区役所精神保健福祉相談担当職員、外部講師、関係機関</p> <p>② 対象 ・ 栄区役所職員のうち、責任職等 ・ 地域の支援者（栄区保健活動推進員・栄区民生委員児童委員を交代で実施）</p> <p>③ 実施内容 ・ さかえハートフルサポーター養成基礎研修 ・ 警察、消防、病院との連携会議（行政連絡会）</p> <p>④ 過去一年間の改善点 ・ コロナのため、研修の実施は難しい状況だった。一方、関係機関での課題検討を実施し、活動の必要性を共有した。</p> | <p>≪養成研修実施回数≫ 1回（職員1回） 地域の支援者向け研修はコロナのため、中止</p> <p>≪研修受講者数≫ 20人</p> <p>≪活動への参加≫ コロナのため集計できず</p> <p>≪関係機関の会議における課題検討と情報共有≫ 行政連絡会 1回実施</p> |

| 課題3 | 自殺のハイリスク者への介入 | |
|----------------------------|---|---------------------------------------|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| <p>ハイリスク者への支援強化</p> | <p>① 実施者・協働者 自殺予防対策分科会委員の属する機関職員等</p> <p>② 対象 ア：栄区内医療・福祉等事業者など イ：自殺ハイリスク者</p> <p>③ 実施内容 ア：メンタルヘルス支援ネットワークの実施による、支援者のスキルアップ イ：自殺ハイリスク者向けのパンフレット、リーフレット、カードを活用した相談支援</p> <p>④ 過去一年間の改善点 ・コロナのため、ネットワーク会議は中止。各機関での相談支援で、パンフレットを活用することで、リスクのある方への働きかけを継続した。</p> | <p>《メンタルヘルス支援ネットワーク》 コロナのため中止</p> |

防犯対策分科会

| 課題 | 振り込め詐欺の増加 | |
|--------------------------|--|---|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 2021年度の実績・成果 |
| 振り込め詐欺の被害者層への啓発実施 | <p>① 実施者・協働者 自治会・町内会、栄防犯協会、栄防犯指導員連絡協議会、栄区商店街連合会、栄区消費生活推進員の会、栄警察署、分科会委員、区役所</p> <p>② 対象 高齢者</p> <p>③ 実施内容 講座・講演による振り込め詐欺の啓発、金融機関での声掛け、防犯情報配信</p> <p>④ 過去一年間の改善点 多くの区民の方に防犯意識を持っていただくために啓発物品を作成し、自治会町内会等へ広く啓発活動ができた。</p> | <p>毎月10日に青色回転灯パトロールの実施</p> <p>≪金融機関での声掛け回数≫ 6回（13箇所）</p> <p>≪街頭キャンペーン等の啓発≫ 2回</p> <p>≪防犯情報配信≫ 93回</p> |